

勝山左義長

左義長ばやし 蝶よ花よ 花よのネンネ まだ乳のむか 乳くびはなせ 乳くびはなせ

ふる里に、春を呼ぶ奇祭。

左義長は古く平安朝の頃から正月15日に行われた行事の一つで、全国各地で行われている小正月の火祭りです。

「勝山左義長」は江戸時代勝山藩に小笠原公が入部以来300年以上の歴史があります。

勝山市街地の各町内に櫓を建て、その上で色とりどりの長襦袢姿の浮き手が、独特のおどけ仕草で三味線、笛、鉦による軽快なテンポの囃子にのって浮かれる様は全国で「勝山左義長」だけの特徴であり、人々はこれを奇祭と呼んでいます。

左義長櫓は総檜作りで本体は大きいもので巾約4メートル、高さ約6メートルあります。櫓は拝殿造りで、2階舞台で左義長太鼓が披露され浮き手たちの軽妙な演技が楽しめます。松と竹で組まれた御神体には歳徳大明神のお札が付けられ各町内の道路上に置かれます。各町内を彩るために赤、青、緑、黄、白など、町内ごとに決められた3~4色の短冊を道路上に吊り、祭りにぎわいを

添えています。

町内ごとに競って作られる「作り物」は、その年の干支にちなんだ作品が多く、生活用具を素材に「にわか」に作り上げた勝山独特の作りものです。また、櫓の周りや街頭には風刺川柳に絵をそえた辻行燈が立ち並び、道ゆく人々が足を止めて見ります。

日曜日になると御神体が弁天桜で有名な九頭竜川河川敷の弁天緑地に運びこまれ、「どんど焼き」の準備が進みます。午後8時になると、神明神社で採火した御神火が正月飾りを積み上げた御神体に一斉に点じられ、冬空美しく雪に映えて燃え盛る炎の競演とともに祭りのフィナーレを迎えます。

この「どんど焼き」で神を送り、五穀豊穣と鎮火（ひしづめ）を祈願しながら2日間にわたる火祭りの行事がすべて終了します。

勝山左義長まつりは、奥越地方に春を呼ぶ祭りと言われ、これを境に勝山に春の足音が聞こえます。

みどころご案内

21日(土)

一番太鼓

午後1:00 上後区櫓にて

21日(土) 22日(日)

左義長ばやし

一番太鼓の後、12地区の櫓で明るいはやし唄に合わせた浮き太鼓が演じられ、町中がおはやしの音に包れます。

※休憩時間がありますので、当日の各地区スケジュールをご覧ください。

作り物展示

生活用具を利用したアイディア作品が展示されます。

また、その作品説明を詩歌に託して詠んだ「書流し」との妙が面白い。

絵行燈

江戸時代に庶民の気持ちを川柳や狂歌にし、絵行燈としてかかげたのが始まり。毎年世相を風刺した区民の願望などが描かれています。

その他

左義長グッズが当たるスタンプラリーが行われます。

また、通りには各地区・団体による飲食コーナーと露店などが軒を並べます。

22日(日)

子どもばやし
コンクール

午前10:00 上後区より、審査員が各櫓を巡回します。

大人に負けじと子どもたちが競い合います。

御神火送り

午後7:45 神明神社で採火した御神火をどんど焼き会場へ送ります。

どんど焼き
午後8:00

弁天緑地にて各地区の御神体に一斉に火がつけられます。

一年の五穀豊穣と鎮火を祈願するまつりのフィナーレです。

正月飾り受付時間

21日(土)
午後1時～午後6時

22日(日)
午前9時～午後3時

受付時間以外の放置物は
不法投棄物として扱います。

正月飾りは各駐車場に停車いただき、徒歩にて本部(郵便局前)の御神体までお納めください。

【主要な無料駐車場】勝山市役所／教育会館／すこやか／弁天緑地(土曜日のみ)／奥越特別支援学校(日曜日のみ)

例年、駐車場が大変混み合います。公共交通機関をご利用ください。

まつり会場でのドローンの撮影は禁止します。

勝山左義長まつり

笑顔を未来につなげる
炎の祭典

令和8年
2月21日(土)
22日(日)

《お問い合わせ》
勝山左義長まつり実行委員会事務局
(勝山市未来創造課内)
☎ 0779-88-8114
福井県勝山市元町1丁目1-1



■一番太鼓 (上後区やぐら)
21日(土) 13:00 ~
■どんど焼き点火 (弁天緑地)
22日(日) 20:00 ~

主催：勝山左義長まつり実行委員会
共催：勝山市 後援：(公社)福井県観光連盟